

地域のつながり 四日市居場所ネットワーク通信

第7号

発行月:2025年3月

発行者:NPO 法人市民社会研究所 (委託者 四日市市)

今年度のふりかえり

四日市市では、今年度から「地域のつながり」強化事業が始まりました。これは、さまざまな課題を抱える人を、分野を超えた地域のつながりによってだれ一人取り残さないという「重層的支援体制整備事業」一環として、NPO 法人市民社会研究所が受託をしました。

この目的を実現するために、まず初めに取り組んだことは、さまざまな居場所を運営しているキーパーソンに呼びかけ、居場所キーパーソン会議（右上写真）を行い、四日市居場所ネットワーク（裏面下段参照）をつくりました。また、「地域のつながり」をつくる取組みとして、ボードゲームを活用した居場所交流も実施しました。8月に実施したこどもと若者の居場所交流（右中写真）では、こどもたちからは「お兄さんとお姉さんに遊び方を教えてもらえてうれしかった。」、若者からは「こどもたちから元気をもらった。」とそれぞれの相乗効果が見られました。その他には、さまざまな居場所を訪問し（左下写真）、事業説明や居場所運営、地域とのつながり等を聞き、今後の居場所ネットワークづくりの道筋の参考になりました。



居場所キーパーソン会議



ボードゲームを活用した居場所交流

居場所調査を実施。その数、約 2,000(2月時点)



居場所訪問

行政資料やホームページ、広報紙等を参考に、四日市市内にどれだけ居場所があるのか調査を実施しています。まずは、居場所の定義を定めず、利用する側だけでなく、支援する側も居場所になりうると考え調査。こども食堂や、地域サロン、認知症カフェ、日本語教室、支援機関、サークル等々を含めると、その数は2月時点で約2,000。今後は、居場所調査を生かした居場所のつながり方を検討していきます。

下野ごちゃまぜ文庫（下野地区）

地域の誰もが利用できる居場所と交流の場です

下野地区のあさけが丘にある「下野ごちゃまぜ文庫」。ここは、地域のこどもから高齢者まで、誰もが利用できる憩いの場として、NPO 法人下野・活き域ネットの協力のもと開設されました。

特徴は本の充実。室内にある本棚には、絵本や小説、マンガや歴史書などが並び、四日市まちじゅうこども図書館にも参加しています。これらの本は、地域の方から寄付してもらったり、代表の谷口さんが集められたそうです。本によっては貸出しもおこなっているとのこと。

机と椅子が配置され、昼間は高齢者が読書したりおしゃべりしたり、夕方まではこどもたちがオセロ等のゲームを楽しんだり、自由な時間を過ごしています。月1回、イベントも開催しています。谷口さんは「誰でも気軽に立ち寄ってもらえる居場所にしたい。」とおっしゃっていました。

場所：あさけが丘2丁目1-39

開館日時：木・金曜日 10時～16時、第2・4土曜日 13時～16時

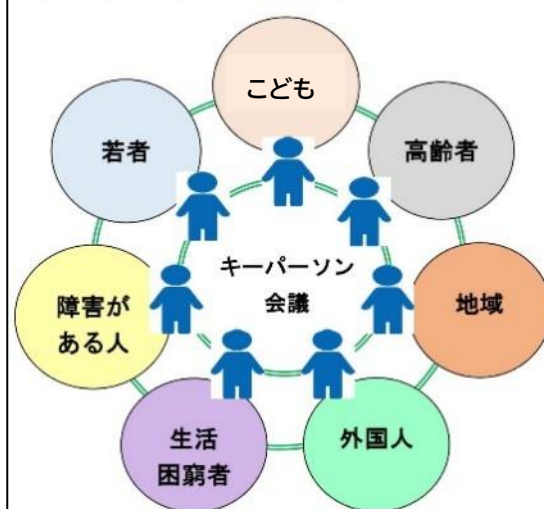


四日市居場所ネットワークとは

四日市市内には、こども食堂や高齢者サロン、学童保育所、認知症カフェなど、さまざまな福祉的居場所があります。こども、若者、高齢者、障害者、外国人、生活困窮者等のさまざまな分野の居場所がつながり、総合的な居場所ネットワークをつくっていきます。

居場所ネットワークができると、いろんな分野の居場所どうしの交流や、居場所を運営する人どうしが、すぐに困りごとを相談したり、情報共有できたりと、様々なメリットがあります。興味を持たれた方は問合せ先までご連絡ください。みんなで一緒に作りましょう！

四日市居場所ネットワークのイメージ



【問合せ先】※四日市居場所ネットワークに参加したい団体、事業所は、お気軽にご連絡ください

発行者：NPO 法人市民社会研究所（委託者：四日市市健康福祉部福祉総務課）

住 所：〒510-0086 四日市市諏訪栄町 3-4

電 話：059-355-5115 メール：ssk21ww@yahoo.co.jp

※電話は「伊勢おやき本舗」で出ます